

(3) 県産米戦略推進課



【継続】水田農業再生戦略事業費

概要

- 米の需給調整や経営所得安定対策等の推進、5～10年後を見据えた産地づくりの検討への支援
- 水田を畑地化して畑作物の生産に取り組む地域への支援

予算額（当初）：689,021千円

事業期間：平成16年度～

背景／課題

- ・国内の主食用米の需要が減少する中、全国的に生産力の減退が進んでいる。本県が米主産地として、生産基盤の維持・拡大を図りながら、多様なニーズに応じた生産の推進が必要
- ・本県水田農業の維持発展を図るため、各地域における将来を見据えた産地づくりの検討への支援や、水田を畑地化して畑作物の生産に取り組む地域への支援を実施

事業内容

- 1 水田農業の維持発展に向けた地域産地づくりの支援体制**
 - ・農産物に対する国内需要の変化や国の支援制度が変更となる中で、本県の水田農業が維持発展できる方策を検討して各地域の産地づくりを支援
- (1) 「水田活用産地づくり推進プロジェクト会議」の開催**
 - ・県や関係団体等で構成するプロジェクト会議を開催し、生産現場における課題・要望の集約や対応策を検討のうえ、課題解決につながる選択肢を提示
- (2) 現場対応技術の検証**
 - ・新たな転換作物の栽培や対策技術に取り組む生産現場の事例を調査・検証し、技術事例集を作成
- (3) 取組事例等の情報発信**
 - ・農家等を対象としたフォーラムを開催し、地域の取組みを促進
- 2 畑地化促進事業**
 - (1) 産地づくりに向けた体制構築支援**
 - ・畑地化に向けた地域での話し合いなどの調整経費への支援
【補助率】定額（上限300万円）
 - (2) 土地改良区決済金等支援**
 - ・畑地化に伴い農業者が土地改良区に支払う必要が生じる地区除外決済金等への支援
【補助率】定額（上限25万円/10a）

事業スキーム

1の事業

水田活用産地づくり推進プロジェクト会議
構成：県、市町村代表、関係団体等

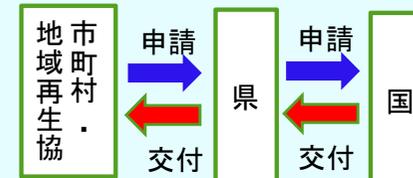
地域の
課題・要望

経営支援、生産技術、基盤技術における
選択肢の提示

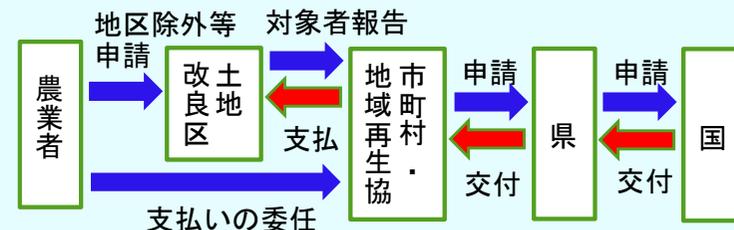
各地域
(農業者・地域農業再生協議会等)

将来を見据えた
産地づくり

2(1)の事業



2(2)の事業



事業目標

- ・主食用米の全国シェア（重量ベース） R5（直近） 4.70% ⇒ R10（目標） 5.00%
- ・「生産の目安」のフル活用度（実績との乖離面積） R6（直近） ▲460ha ⇒ R10（目標） 0ha

問い合わせ先

- 担当：米政策推進担当
- 電話：023-630-2304

【継続】土地利用型作物競争力強化生産総合対策事業費（水稻等）

概要

- 土地利用型作物の競争力強化に向けた共同利用施設の整備等への支援
- 高性能な機械のリース導入への支援

予算額（当初）：630,880千円
（2月補正）：229,745千円

事業期間：平成16年度～

背景／課題

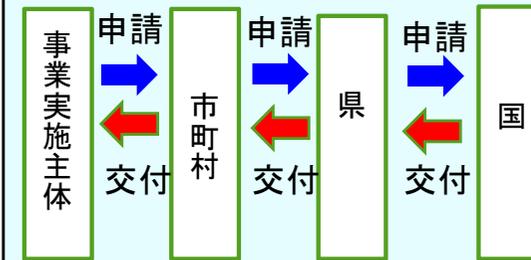
- ・「強い農林水産業」を実現するため、生産基盤の整備により、農業の収益力等を強化することが喫緊の課題である。このため、消費者・実需者の需要に応じて、国産農畜産物を安定的に生産・供給する産地体制等の構築が必要
- ・農業の国際競争や関税削減等による長期的な影響が懸念される中で、農業者の将来への不安を払拭し、攻めの農業へ転換するため、消費者・実需者の需要に応じて、国産農産物を安定的に生産・供給する産地体制等の構築が必要

事業内容

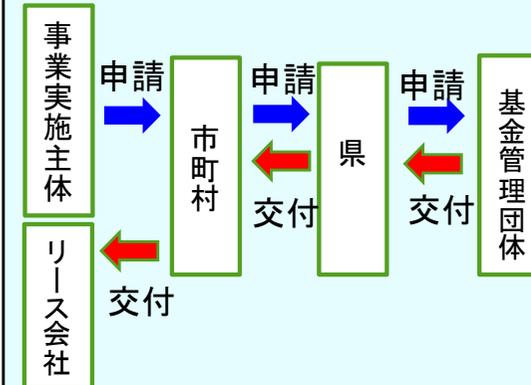
- 1 強い農業づくり総合支援交付金（補助率：1/2以内等）【当初】
土地利用型作物の生産性向上等の取組みに必要な共同利用施設の整備を支援
○事業実施主体：農業協同組合、農業協同組合連合会、農事組合法人、農地所有適格法人、農業者の組織する団体等
- 2 産地生産基盤パワーアップ事業（補助率：1/2以内等）
 - (1) 生産支援事業（基金事業）【当初】
 - ① 収益性向上対策
土地利用型作物において生産コストの低減や生産性向上等に必要な農業機械のリース導入等を支援
 - ② 生産基盤強化対策
土地利用型作物において生産基盤の強化等に必要な農業機械のリース導入等を支援
 - (2) 整備事業（国庫事業）【2月補正】
土地利用型作物において生産コストの低減や生産性向上等に必要な穀類乾燥調製施設等の整備を支援
○事業実施主体：「産地パワーアップ計画」に位置付けられている農業者、農業者団体等
- 3 新基本計画実装・農業構造転換支援事業（補助率：1/2以内等）【2月補正】
土地利用型作物の生産性向上等の取組みに必要な共同利用施設の再編集約合理化を支援
○事業実施主体：農業協同組合、農業協同組合連合会、農事組合法人、農地所有適格法人、農業者の組織する団体等

事業スキーム

1、2（2）、3の事業



2（1）の事業



事業目標

・経営体当たり米の産出額 R2～R5（現状）395万円 ⇒ R10（目標）740万円

問い合わせ先

- 担当：米政策推進担当
- 電話：023-630-2304

【継続】土地利用型作物競争力強化生産総合対策事業費（そば・麦・大豆）

概要

- 麦・大豆の生産体制の強化に向け、機械・施設整備、生産性向上推進の取組みへの支援
- そばの安定生産を図るため、湿害対策技術等の取組みに必要な経費を支援

予算額（当初）：70,000千円

事業期間：平成16年度～

背景／課題

【背景】

- 国産の麦・大豆は、堅調な需要がある一方、作柄が天候による影響を受けやすく、供給量や品質が不安定
- 国産そばは実需者からニーズが高いものの、生産量が不安定

【課題】

- 需要に応じた供給体制の確立に向けた、麦・大豆・そばの生産基盤の強化
- 安定生産の総合的な推進
 - ・湿害対策の導入
 - ・作付面積の拡大
 - ・単収の増加
 - ・生産コストの低減
 - ・需要に応じた品種転換
 - ・労働時間の削減

事業内容

1 麦・大豆生産技術向上事業

実施主体：農業者の組織する団体等（受益農業者5名以上）

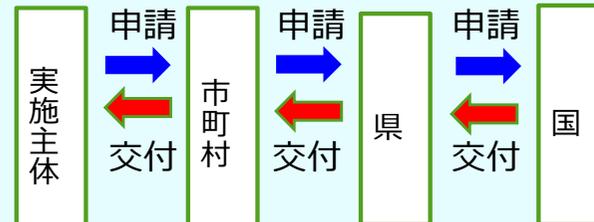
- (1) 生産性向上の推進に必要な経費への支援
補助率：定額（規模に応じて上限1,000千円～3,000千円）
- (2) 新たな営農技術等の導入
補助率：定額（上限10千円/10a）
（※大豆極多収性品種の種子に係る取組は上限20千円/10a）
- (3) 生産拡大に向けた機械・施設の導入への支援
補助率：1/2以内（500千円以上50,000千円未満の機械・施設）
（※圃場で利用する機械の導入では、補助上限37.5万円/haかつ50,000千円未満。事業費に上限を定めない）

2 そば安定生産等対策事業

実施主体：農業者の組織する団体等

- (1) 湿害対策技術の導入
 - ①湿害対策技術を新たに導入する取組みへの支援
補助率：定額（2千円/10a）
 - ②湿害対策技術の導入に必要な農業機械の導入への支援
補助率：1/2以内（500千円以上10,000千円未満の機械等）
- (2) 複数年契約取引 補助率：定額（1千円/10a）
- (3) 国産そばの新規需要拡大 補助率：1/2以内

事業スキーム



【麦・大豆生産技術向上事業】
生産の現状把握と課題の解決に向けた取組方針等を定めた「国産化プラン」を事前に策定

事業実施状況の報告及び評価

実施主体は目標が達成するまでの間、目標達成に向けて取組む。

事業目標

- ・大豆の単収 H29～R5（平均）140kg/10a ⇒ R10（目標）160kg/10a
- ・そばの単収 H29～R5（平均）41kg/10a ⇒ R10（目標）58kg/10a

問い合わせ先

- 担 当：作物振興担当
- 電 話：023-630-2316

【継続】山形「つや姫」「雪若丸」ブランド戦略推進事業費

概要

○日本を代表するブランド米「つや姫」の更なる評価向上と生産拡大、「雪若丸」の認知度向上や購買促進に向けた、生産・販売・コミュニケーション戦略の展開

予算額（当初）：94,721千円

事業期間：令和3年度～

背景／課題

◆インバウンド需要の拡大など、需要増加による米不足や在庫増減による米価の大幅な変動

◆年々厳しさを増す温暖化に対応した米生産の必要性



◎日本を代表するトップブランド米「つや姫」の更なる評価向上と、高温耐性を踏まえた生産拡大

◎「雪若丸」ブランドの全国への浸透と定着

事業内容

1 「つや姫」ブランド戦略の推進

- ◇ 戦略的な生産拡大と栽培技術の徹底等によるブランド価値の向上
- ◇ 購買喚起を図るテレビCMの放映や、SNSを活用した一般参加型の動画投稿などによるプロモーションの展開
- ◇ トップブランド米としての販路拡大や、インバウンド需要を捉えたプロモーションの展開

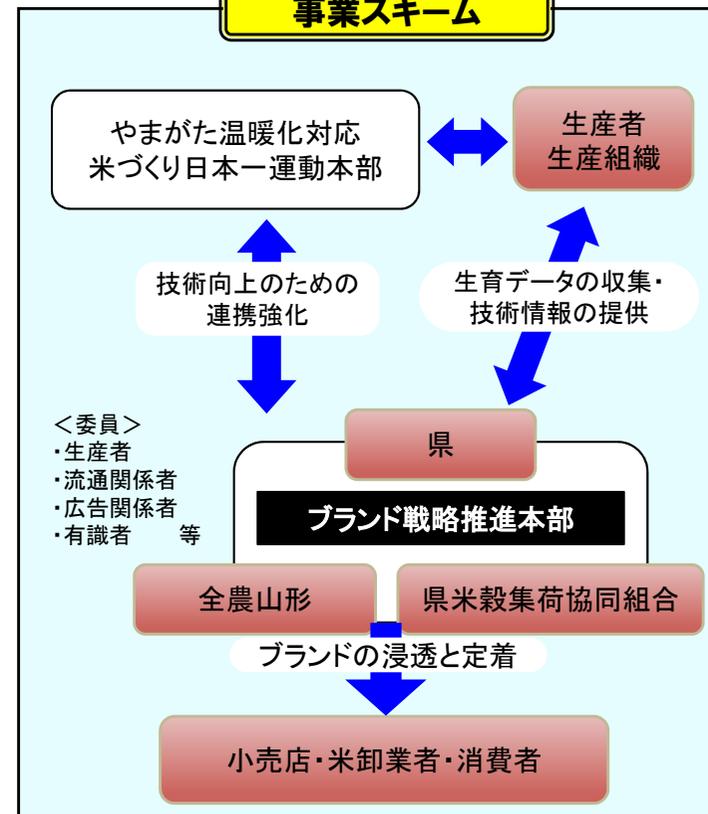
2 「雪若丸」ブランド戦略の推進

- ◇ 衛星リモートセンシング技術を活用した生育管理技術の実践や、専任サポーターによる品質・食味・収量のレベルアップに向けた伴走型支援
- ◇ 購買喚起を図るテレビCMの放映とCMを起点としたクロスメディアプロモーションの実施
- ◇ 首都圏等の百貨店でのフェア開催など、商品定番化に向けたプロモーションの強化

3 県産米販売・PR支援

- ◇ PRスタッフによるSNS等を活用した積極的な情報発信や店頭でのPR

事業スキーム



問い合わせ先

生産戦略関係

- 担当：作物振興担当
- 電話：023-630-2316

販売戦略・コミュニケーション戦略関係

- 担当：県産米ブランド戦略担当
- 電話：023-630-3295・2476

事業目標

- ・「つや姫」の相対取引価格の全国順位 R5（直近） 2位 ⇒ R7（目標） 1位
- ・「雪若丸」の認知度 R6（直近） 44.9% ⇒ R7（目標） 80%

